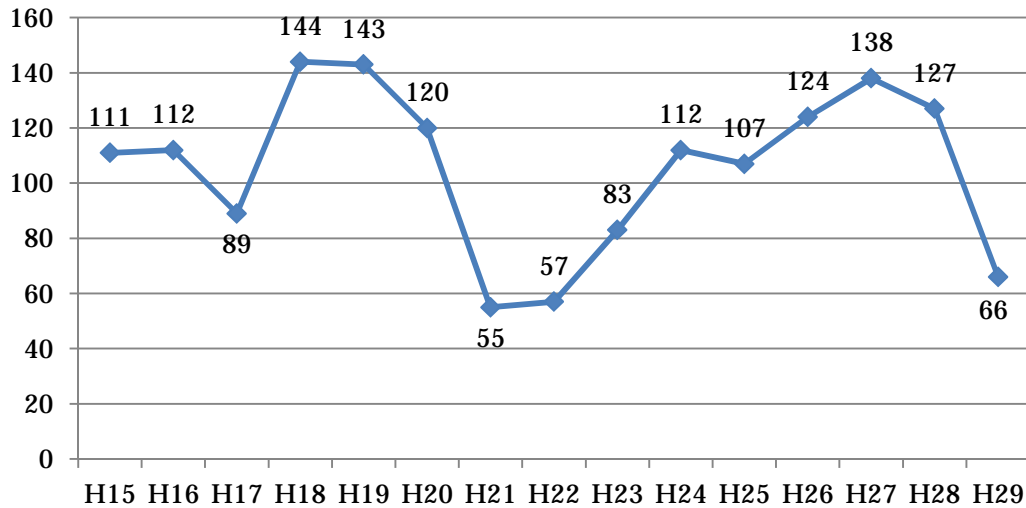




滋賀県の労働衛生の現状（平成30年版）

平成30年8月
滋賀労働局

図1 業務上疾病発生状況（滋賀県 / 過去15年間）



出典：労働者死傷病報告（休業4日以上之死傷労働災害）

図2 業務上疾病の種類別発生状況

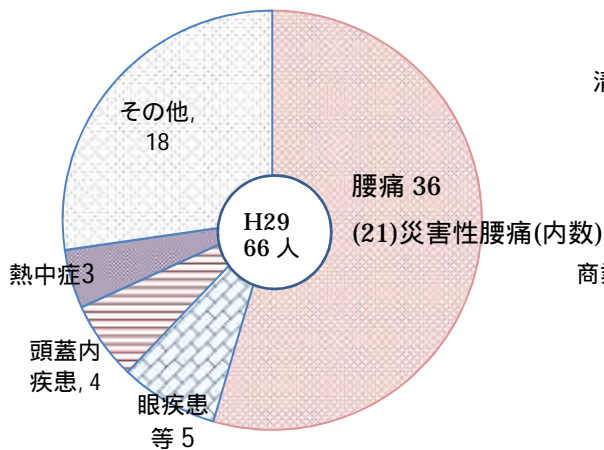
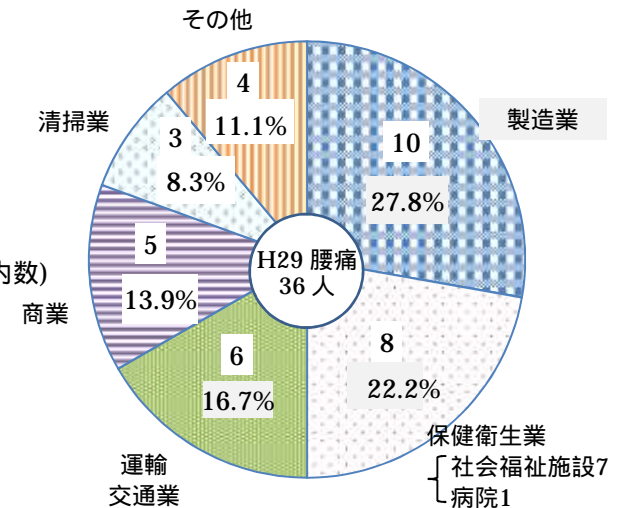


図3 腰痛の業種別発生状況



出典（図2,3）：労働者死傷病報告（平成29年（暦年） / 休業4日以上之死傷労働災害）

注（図2）：「化学物質等による疾病」と「熱中症」の（ ）内は死亡者数（内数）（参考）
滋賀労働局「第13次労働災害防止推進計画」

- ・重点とする健康確保・職業性疾病対策（6つの重点分野）
 - メンタルヘルス対策
 - 化学物質対策
 - 熱中症対策
 - 過重労働対策
 - 転倒・腰痛対策
 - 受動喫煙防止対策

図4 精神障害に係る労災認定状況（全国（上） 滋賀県（下、右））

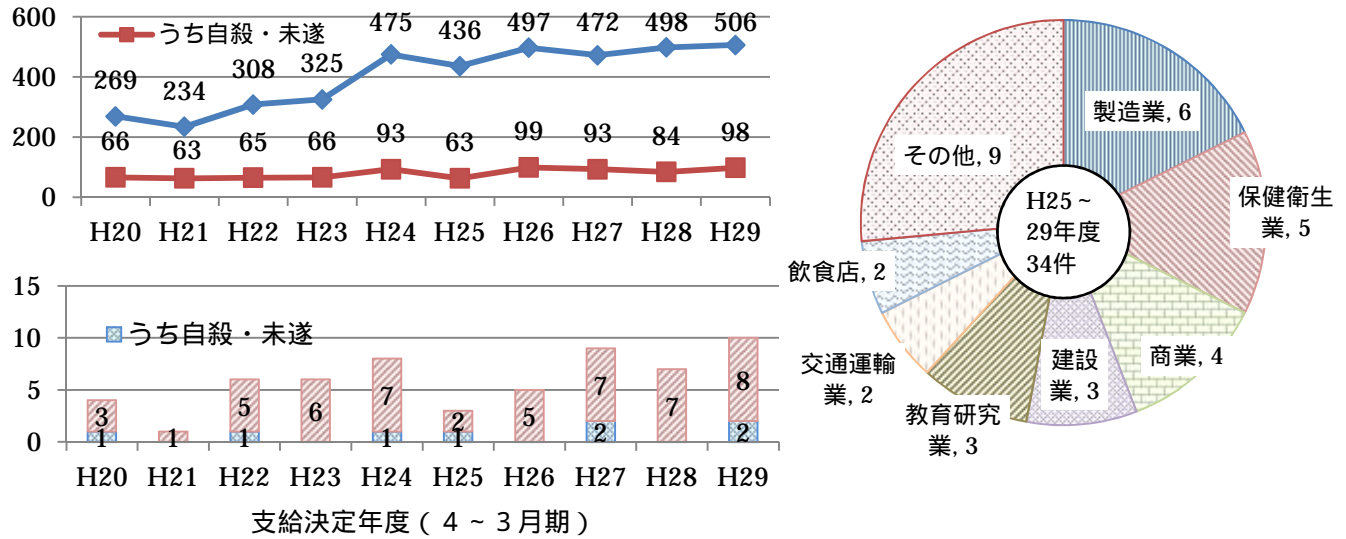


図5 脳・心臓疾患に係る労災認定状況（全国（上） 滋賀県（下、右））

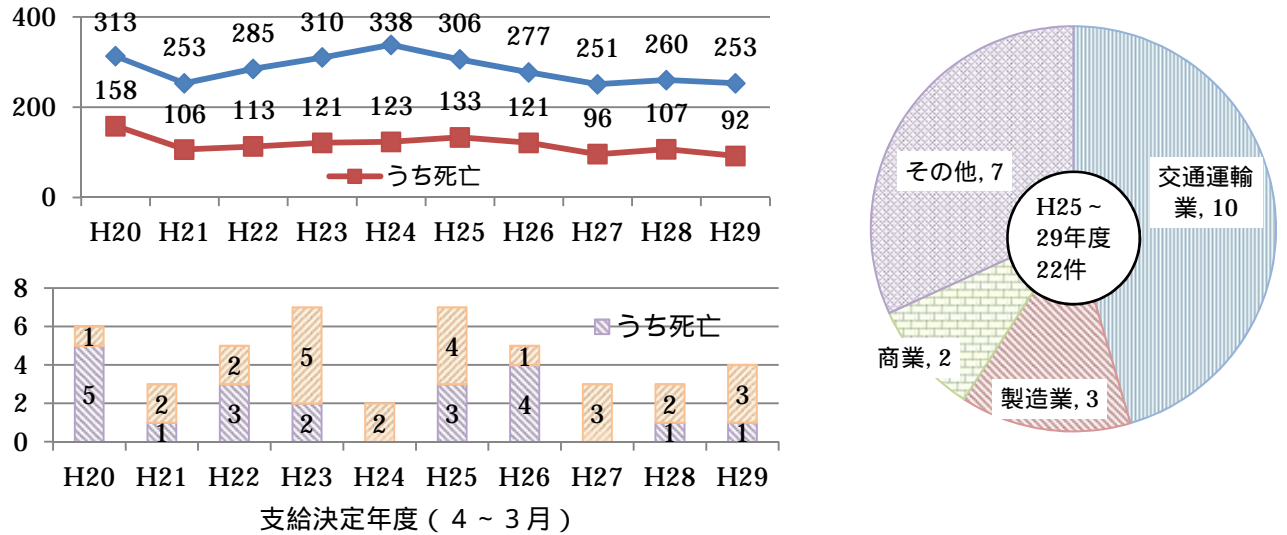
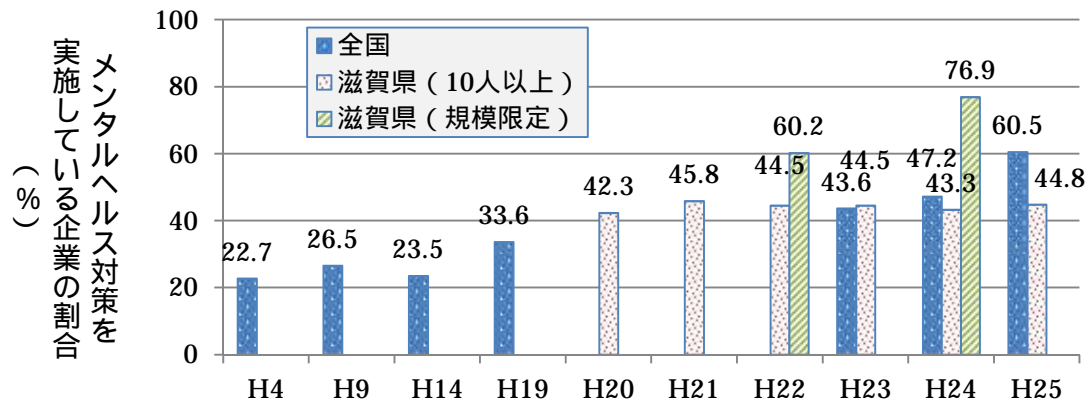
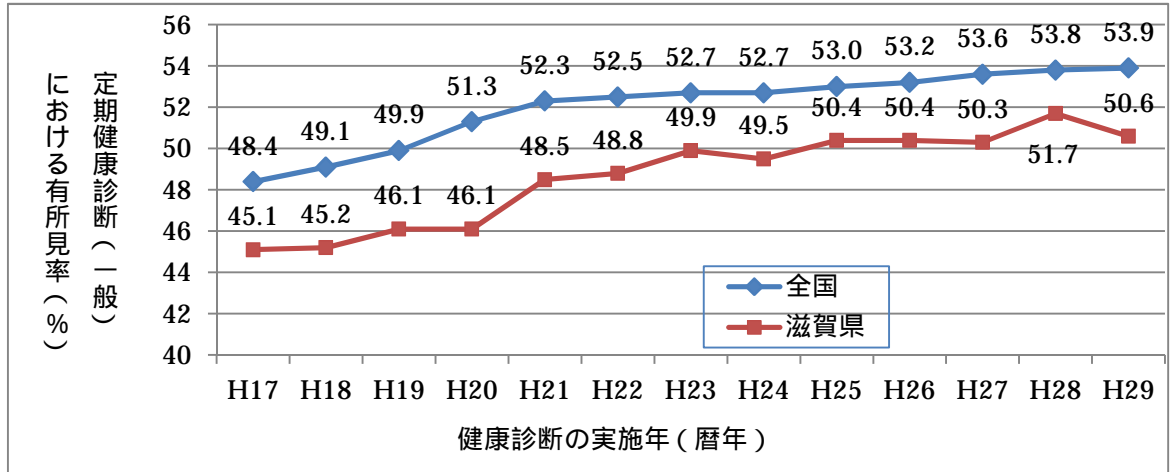


図6 事業場におけるメンタルヘルス対策の実施状況（全国、滋賀県）



出典：「全国」は厚生労働省「労働安全衛生特別調査」の「労働者健康状況調査」(H4,9,14,19,24)、「労働災害防止対策等重点調査」(H23)又は「労働安全衛生調査(実態調査)」(H25)(常用労働者10人以上の事業所が対象)。「滋賀県(規模限定)」は、滋賀労働局「メンタルヘルス対策自主点検」(H22は労働者100人以上、H24は労働者50~99人の事業場が対象)。「滋賀県(10人以上)」は、滋賀県「労働条件実態調査

図7 定期健康診断（一般）における有所見率（過去13年間）



率の高い項目	血中脂質	血圧	肝機能検査	血糖検査	心電図	聴力4000Hz
項目別有所見率（全国平均）	30.22 % (31.93 %)	14.47 % (15.13 %)	12.46 % (15.13 %)	11.20 % (11.31 %)	8.11 % (9.86 %)	7.88 % (7.21 %)

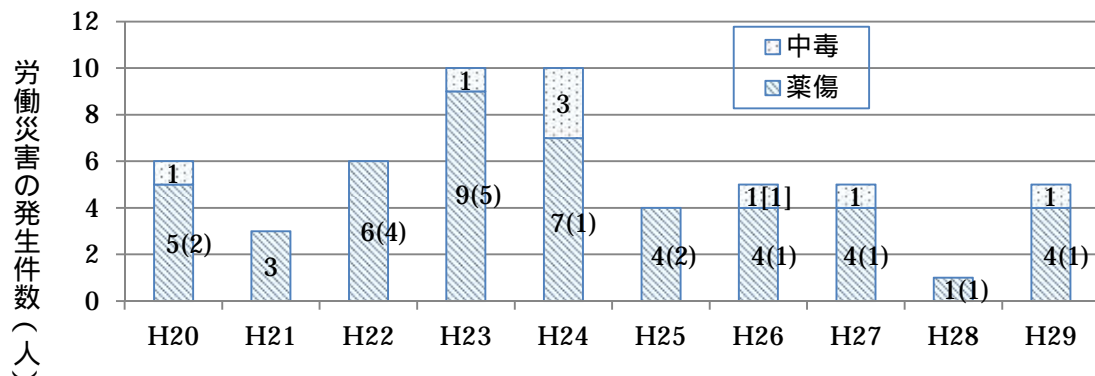
出典：労働安全衛生規則第52条に基づく「定期健康診断報告書」（常時50人以上の労働者を使用する事業場の報告）

図8 特殊健康診断実施状況（平成28年対象業務別）

区分		実施事業場数	受診労働者数	有所見者数	有所見率 (%)	全国平均有所見率 (%)
法定の特殊健診	有機溶剤	665	16,389	558	3.40	6.00
	特定化学物質	479	16,239	209	1.29	1.55
	鉛	64	925	24	2.59	1.59
	電離放射線	127	3,761	151	4.01	8.71
特殊健診 行政指導による	振動	13	965	7	0.73	5.90
	騒音	182	9,200	1,029	11.18	13.39
	紫・赤外線	46	1,005	11	1.09	2.28
	VDT作業	113	6,546	489	7.47	6.90

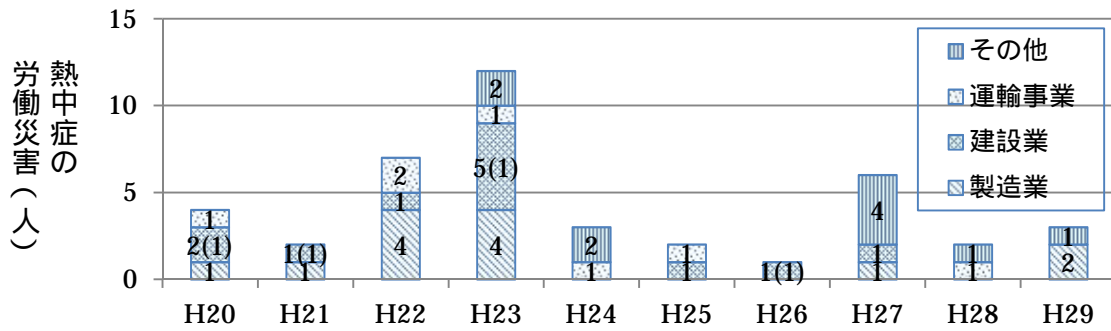
・ 有害業務を有する事業場から提出のあった特殊健康診断実施状況報告に基づく。

図9 化学物質による薬傷・中毒の発生状況（滋賀県、急性の健康障害、過去10年間）



注：()内は、眼に疾病を負ったもので、薬傷（化学熱傷）の内数。[]は死亡者数（内数）
出典：「労働者死傷病報告」（休業4日以上の死傷労働災害）

図 10 熱中症の発生状況（滋賀県、過去 10 年間）



注：() 内は死亡者数で内数。 出典：労働者死傷病報告（休業 4 日以上之死傷労働災害）

図 11 職場での受動喫煙防止対策の実施状況（滋賀県、平成 27 年）

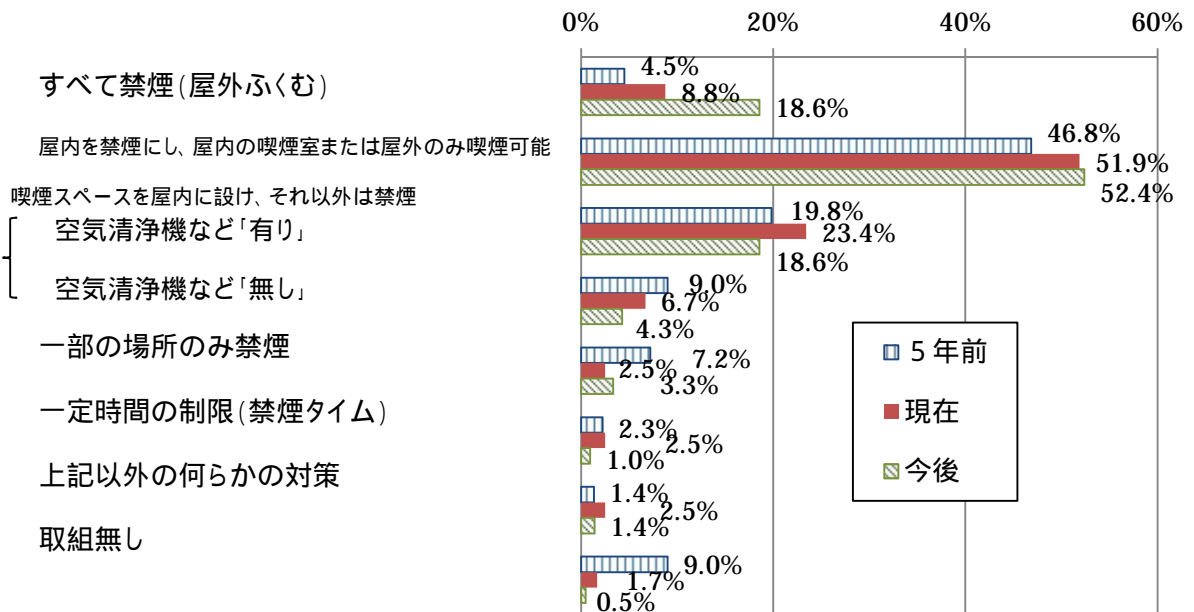
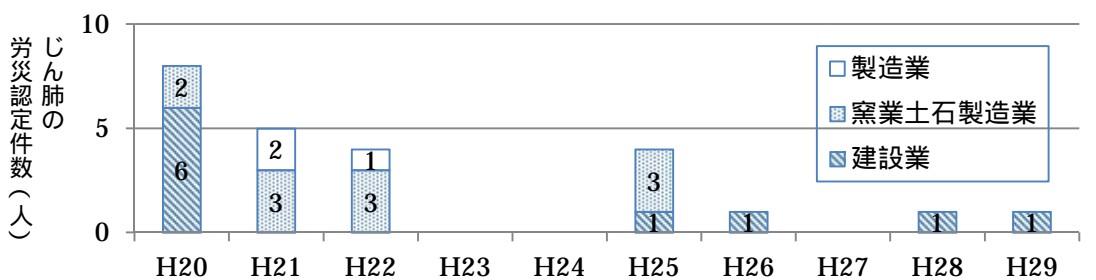
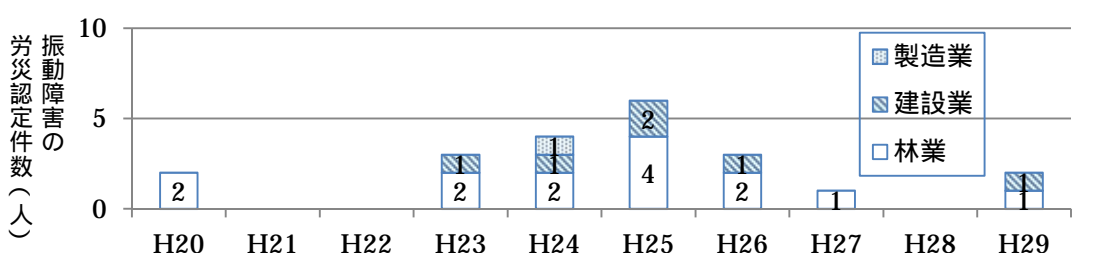


図 12 じん肺の労災認定状況（滋賀県、過去 10 年間）



出典：労災新規受給者数。当該年に労災認定を行った件数。（暦年）

図 13 振動障害の労災認定状況（滋賀県、過去 10 年間）



出典：労災新規受給者数。当該年に労災認定を行った件数。（暦年）